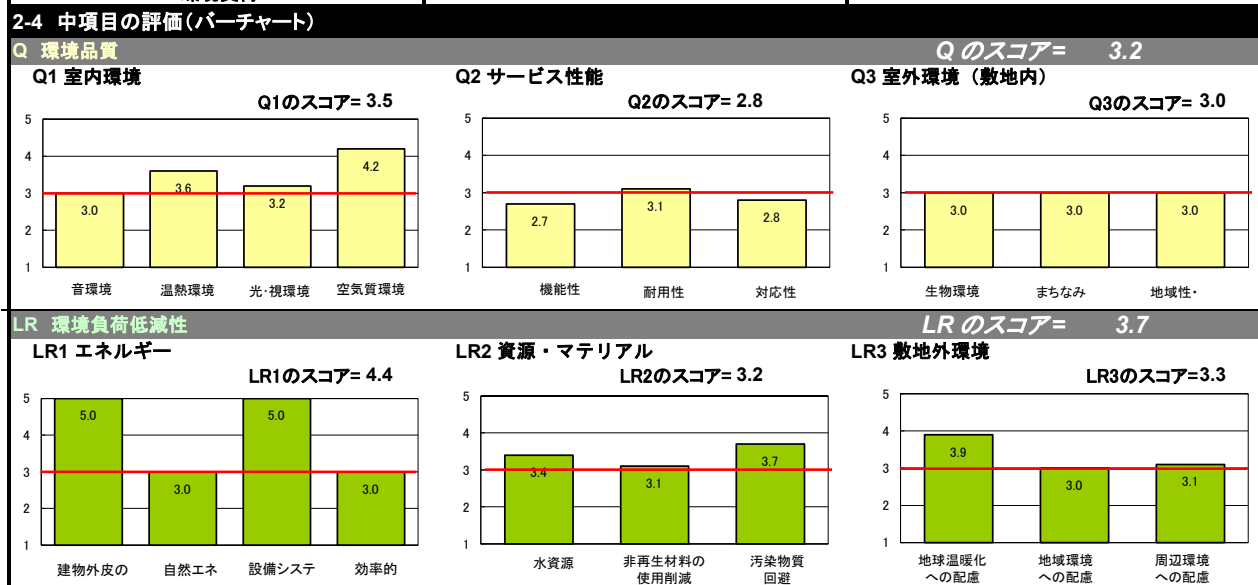
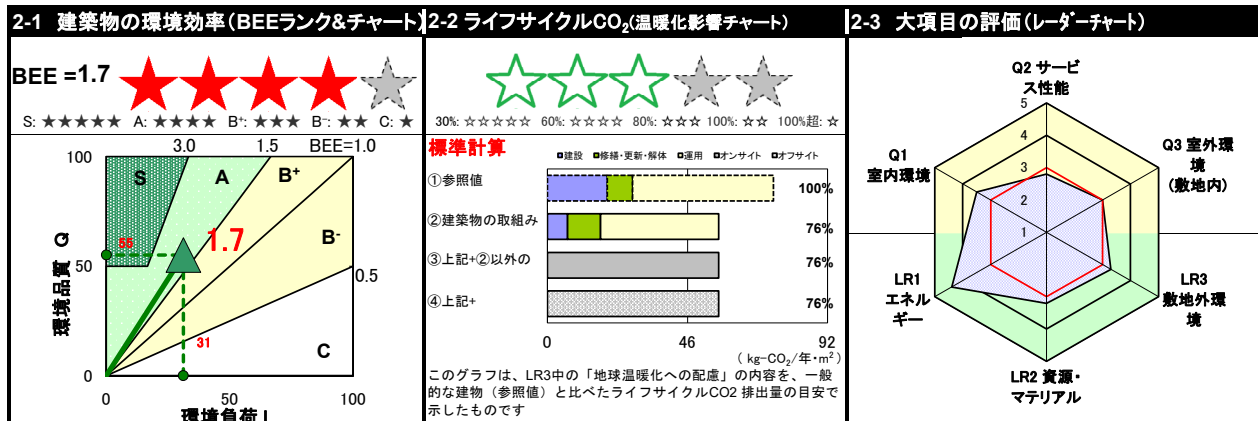
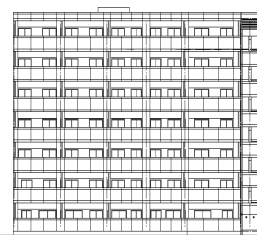


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和7年度市営弥永住宅(その2地区)新築工事	階数	地上7F
建設地	福岡県福岡市南区弥永団地44-3	構造	RC造
用途地域	市街化区域、法第22条区域	平均居住人員	130 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年2月10日
敷地面積	2,332 m ²	作成者	福井 潤
建築面積	379 m ²	確認日	2025年5月13日
延床面積	2,016 m ²	確認者	福井 潤



3 設計上の配慮事項		その他
総合 周囲は低層の住棟が立ち並ぶ団地のため、周囲の景観に配慮した色彩とし、敷地内の緑化を計画した。		0
Q1 室内環境 建築基準法を満たし、かつ規制対象外となる建材をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 福岡市福祉のまちづくり条例の基準を満たし、住宅性能評価基準: 3.劣化の軽減に関すること の項目において等級3を取得予定。 1F住戸は高齢者等配慮対策等級3及び5を取得予定。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り緑化を行った。
LR1 エネルギー 省エネ法(新基準)に適合する仕様としている。 省エネルギー対策等級5を取得予定	LR2 資源・マテリアル リサイクル材料を内装材に使用している。 再生クラッシュランを採用。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保している。 また、共用玄関付近に車いす使用者駐車区画、介護送迎用の駐車区画も確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される